

OncotypeDX Recurrence Score 予測式作成に関する後ろ向き観察研究

を実施しております。皆様のご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

なお上記研究は当院での倫理委員会の承認を経て実施しております。

研究の背景

ホルモン受容体陽性乳癌(Luminal type)の術後治療の決定において、抗がん剤治療を行うかどうかの判断に苦慮することが多いです。

近年、乳癌病巣の遺伝子検査を行うことで、その悪性度、予測再発率、抗がん剤治療を施行することにより低下する再発率の試算が検査できるようになりました(oncotypeDX Recurrence Score)。しかし検査費用と検査結果が判明するまでの所要時間の観点から、全患者さんが検査を施行することは困難と思われれます。

研究の目的

通常病理結果で測定される因子を用いて oncotypeDX Recurrence Score の予測式を作成します。

研究の対象

過去に当院で oncotypeDX 検査を提出された方の臨床データ。

研究期間

2020年8月から2021年7月までの1年間です。

研究に用いる情報について

既に検査済である臨床データを使用します。

研究のために使われる情報は匿名化し、個人が一切特定されない状態で管理致します。これらの情報は本研究終了後速やかに破棄致します。それらは研究目的以外には一切使用しません。情報は研究責任者が適切に管理し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

データを集積後、完全に匿名化、一切個人が特定出来ない状態にした上で、最終的な解析、結果の公表は、横浜市立大学附属市民総合医療センター・乳腺甲状腺外科、横浜市立大学医学部消化器・腫瘍外科学教室、横浜市立大学医学部臨床統計学教室と共に行います。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と致しませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

お問い合わせ先

本研究に関してご質問等がございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。

研究責任者

〒222-0036 神奈川県横浜市港北区小机町 3211 横浜労災病院

乳腺外科部長 千島隆司

電話番号：045-474-8111（代表）